

平成19年度 事務事業評価表		担当	教育委員会 体育課				内線等	3404
事務事業名	体育協会活動事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等						Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	スポーツ・レクリエーション
------	---------------------	-----	---------------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市体育協会に対し
手 段	補助金を交付し活動を支援することにより
想定する成果	各種競技のレベルの向上と活動の活性化を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
団体、加盟者数	24団体	5,519人	24団体	5,582人	24団体	5,600人
補助対象事業費	10,409,908円		10,573,859円		10,778,000円	
補助金額	6,700,000円		6,700,000円		6,700,000円	

成果指標

成果指標名	加盟者1人当りの補助金額	補助率
成果指標の説明	補助金額 / 加盟者数	補助金額 / 補助対象事業費 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1,214円				1,200円				1,196円			
成果指標		64.36%				63.36%				62.16%			
事業費	事業費	6,700				6,700				6,700			
	人件費	4,286				4,299				4,707			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.5	正規	0.4	非常勤	0.5	正規	0.6	非常勤	0.0
	合計	10,986				10,999				11,407			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	10,986				10,999				11,407			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	各協会が独自の活動を通じてスポーツの普及、レベルの向上に努めている。
経済効率性	2	1	2	1	使用料減免、免除の規定により恩恵を受けているため、各協会ともコスト感覚が備わっていない。
事務効率性	1	2	1	2	昔ながらの組織運営を継続しているため、職員減に伴い事務負担が増している。
必要性	1	2	1	2	スポーツ振興から必要な組織であるが、組織として自立が望まれる。
小計	6	7	6	7	
施策への貢献度	3	-	3	-	市民の健康維持等にスポーツは重要な役割を果たしており、その受け皿として体育協会は必要な組織である。
合計	9	7	9	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	他市においては、体育協会を法人化して独自に運営しているところもあるので、一部市の負担は必要であるが、独自に運営できる団体になることが望まれる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
開催行事を体育協会が立案、運営するように指導していく。
上記改善点の実施状況
各事業の実行委員会により議事の執りまわしが行われている。

今後さらに改善すべき点

市職員の関与を減らし、独自に組織運営できるよう自立すること。

平成21年度予算に反映する項目

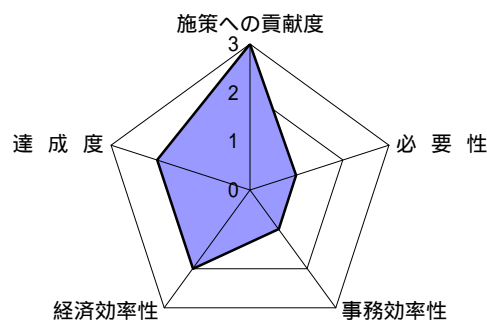
--

今後の方向性

検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点